

分科会 I ・ II

司会者 それでは引き続き分科会 I に入りたいと思います。この後、各分科会ごとに分かれてもらいます。紫の名札、「同和問題」の分科会は、ステージに向かって左前方に集まってください。ピンクの名札、「いじめ・不登校」の分科会は、ステージに向かって右前方に、「障害者問題」の分科会、水色の名札は、ステージに向かって左後方に、同じく黄緑の「女性差別」の分科会の方は、ステージに向かって右後方に集まってください。話し合いの内容は、ただ今していただきました意見発表についての感想や意見について深めていただければと思います。なお、各分科会ごとに、司会者・報告者を決めてから話し合いを始めてください。記録の関係上、発言者は学校名、学年、名前を言ってから発表してください。それではよろしくお願いします。

《分科会 I の記録については次頁以降に掲載》

司会者 それでは時間がきましたので、各分科会から報告をお願いします。最初に同和問題分科会、報告をお願いします。

A分科会報告者 最初に、さっきの意見発表の感想とかを言って、その後は、自分の学校の人権劇とか弁論大会とかの話で、その後、高校生のこういう風な友の会みたいな感じの説明を聞いて、最後に結婚差別の話題で話をしました。午後も、その話題で話し合いになると思います。



司会者 ありがとうございます。続いて、いじめ・不登校問題分科会、お願いします。

B分科会報告者 いじめ・不登校分科会の報告をします。最初自己紹介をしてから意見発表の感想を言い合いました。発表をしてくれたJさんが、しんどい思いを勇気を出して言ってくれたことがすごいという意見や、いじめを受けることの辛さが本当に分かったという意見や、ショックを受けたという意見や、いじめは人の心も体も傷つけてしまうことを知ったという意見などが出ました。それから、なぜいじめ・不登校の分科会に来たかという質問では、自分は辛い思いをしたことがあって、なくしていきたいと思ったからとか、いじめが一番身近な問題だと思ったから、いじめをなくせば他の差別もなくなっていけると思ったからなどの意見が出ました。以上で報告を終わります。



司会者 ありがとうございます。続いて、障害者問題分科会、お願いします。

C分科会報告者 C分科会では、障害者問題について話をしました。川内中学校のKくんの発表を受けての意見では、普通の人には障害者についてかわいそうと思っていたけど、当たり前の



生活だったんだと思った。身近な人に障害のある人がいるけど、なぜ差別をされるのか分からないし、差別を許せないと思った。自分には関係ないと思っていただけ、障害のある人とふれあっていたら、普通の人と同じように接しようと思った。障害者を見て笑っていたら、そんなのは許せないと思ったし、でも止めることができなかった。止められるようになりたい。かわいそうと思った。でも今はかわいそうと思わない。障害のある人に変な気づきはいらないのではないかと思いました。

司会者 ありがとうございます。それでは最後に、女性差別分科会、お願いします。

D分科会報告者 女性差別では、最初にGさんの意見発表に対する感想を話し合っていました。次に自分が女性差別をされた体験談を1人ずつ発表しました。言葉づかいや素行など、ささいなことが女性差別につながっていることを知りました。でも同時に男の人と同じ様なことがあることが分かりました。午後からもっと意見を出し合い、深めていきたいと思います。



司会者 各分科会で、司会・報告をしてくれたみなさん、ありがとうございました。以上で分科会Ⅰを終わりたいと思います。

司会者 それでは定刻がきたので、着席してください。分科会Ⅱの司会をさせていただく川内中学校3年gと、川内中学校3年hです。よろしくお願いします。午後の分科会Ⅱは、分科会テーマごとに小グループに分かれて意見交換を行います。小グループに分かれたら、まず、司会者・報告者を決めてから意見交換を始めてく

ださい。時間については、14:30までとします。なお、休憩については、各グループごとに、適宜10分程度とってください。この後、分科会担当の先生の指示にしたがって、小グループに分かれて座ってください。それでは、各分科会担当の先生方よろしくをお願いします。

《分科会Ⅱの記録については次頁以降に掲載》

A (同和問題)分科会 I

参加中学生 31人

応神中学校 5人, 大麻中学校 3人
板野中学校 1人, 上板中学校 2人
川内中学校 2人, 加茂こぼ子ども会 1人
名和中学校 8人, 北暎中学校 3人
中山中学校 6人

司会・報告 応神中学校

担当教員 応神中学校・上板中学校

■意見発表を聞いてどう思ったか？

- ・部落差別が残ってるとは知らなかった。自分の父親が受けた部落差別のことしか知らなかった。

■実際に部落差別をされたり、したことについて知っている人はいるか？

- ・親戚の結婚相手が同和地区の人で、他の親戚の人が反対したという話を母から聞いたことがある。やっぱり結婚差別は身近にあるのかなと思った。
- ・最近は少なくなってきたと思うけど、結婚の時にはある。
- ・自分は、「部落差別はおかしい」というふうになって行ってほしいし、していきたい。もしそれができなかつたら部落差別を認めることになるので、まず自分が力をつけていきたい。
- ・部落差別を経験している人が少ないから、今日作文を聞いて、部落差別がはっきり残っているということが分かった。
- ・地域子ども会活動で同和問題について勉強していて、関心があったから今日は来た。

■各学校ではどんな取り組みをしているか？

- ・同和問題についての劇や弁論大会をしている。
- ・部落差別を受けた作文を聞いて、それについての学習をしたりしている。
- ・応神中学校の去年と今年の文化祭で行った劇の内容について説明。

■高校でも同和問題学習はあるのか？

- ・高校での同和問題学習は盛りあがりがないので、逆にやりがいがある。この会は、みんな

で明るくやっぺいこう！顔をあげよう！感想を言っぺいこう！言葉を返していこう！せっかく発表してくれたんだから。大麻中も頑張っぺ劇に取り組んで、熱演して！

- ・徳商には人権部ピーチ「Peach」があっぺ、「Peace Earth Act Courage Human」の頭文字を取っぺている。いろんな集会とかの司会などをしていっぺる。意見発表の感想としては、結婚の時の反対の話とかは聞く。知り合いの人にもあっぺた。

■中学校ではこういう集会があっぺるが、高校ではどんなものがあるのか？

- ・7月に行われた徳島県高校生集会について、その内容を説明。

■意見発表者への質問。兄さんが結婚を反対されていっぺるという話を聞いたのは、どんな場面か？

- ・中2の正月過ぎた2、3月に、父母の結婚記念日で食事に行っぺていたとき、父さんが部落出身であるといっぺること、父さんの先生が同和問題に熱心だっぺたけど、先生の娘が部落出身の人と結婚するといっぺたら、先生は反対したといっぺることを聞かされた。兄が別れたのは、つき合っぺた彼女の姉が、兄の住所と名前を聞きつけて、「同和の人ではないか」となり、親に言っぺて別れることになっぺた。彼女も別れるのは嫌で、こっちに来ると言っぺており用意もしていっぺたが、親の反対がきつくと、別れることになっぺた。



A (同和問題) 分科会 II

小グループA

司会・報告 応神中学校

担当教員 応神中学校

■意見発表についての感想はどうか。

- ・発表者の兄が、部落差別による結婚差別で彼女と別れたと聞いて、差別にあった時、どういふ対応をすればいいのだろうかと思った。
- ・仲間をつくって乗り越えるしかないと思った。
- ・自分が思った通りにやればいいのかと思う。
- ・正しいと思ったことをやればいいのかと思う。
- ・差別に負けない心を持つことが大切だと思った。
- ・もし自分が「別れろ、別れろ」と言われたら、地域を離れて出ていく。
- ・2人でかけおちをする。
- ・私であれば、1人で考え込むのはしんどいので、自分が入っている高校生友の会の子に相談をして、話を聞かせてもらい、アドバイスをもらって、相手の親に説得に行く。
- ・とりあえず相手の親に話をし、分かってくれなければ…。
- ・まず誰かに相談をするが、流されるとショックなので、乗ってくれる人に相談をする。相手が諦めるなら自分も諦めるが、そうでないのなら、頑張って説得をする。
- ・友達に相談をして、ダメなら2人でどこかに行く。

■どんな説得をするのか。

- ・反対の原因を聞き、それが部落差別であれば、反論はさせない。
- ・それでも結婚させないと言われたらどうするか。
- ・2人で家を出ていけばいいとも思ったけど、相手の親に対して後味が悪いので、やっぱり分かってもらった方がいいと思っている。
- ・仲が悪いまま結婚して、できた子どもに「汚い」と言われるのはむごい。
- ・やっぱり家を出ていくのは難しいと思った。
- ・自分は、親のことを無視して結婚するかも…。親は関係ない。

- ・かけおちすると言ったけど、絶対親の力を頼っていくことがあると思う。だから、離婚するケースもあると思う。今まで育ててくれた恩もあるし、簡単には家を出ていけないかも。
- ・さっき、「親は関係ない」と言ったけど、相手の親に「敷居またぐな」とか言われ、悲しい思いをしたら、あなたはどうするか。自分の親が、彼氏のことを滅茶苦茶言ったらどうするか。
- ・ムカつく。
- ・私は性格上、絶対キレると思う。一言一言言うと思う。バーツと言うと思う。言わないと伝わらない。そういう時は言わなければいけない。
- ・みんな思っていることはあると思う。モヤモヤしたままでは帰らないように。自分も今年の県高までは言えなかった。「間違っていたら」なんて思わなくていい。
- ・部落の人と結婚するのは悪いことではなく、反対されて我慢したり、親が認めてくれないっていうのはおかしいことだと思うが、どうだろうか。
- ・親と彼氏では、どっちをとるか。
- ・彼氏をとる。
- ・両方とる。
- ・どっちも失いたくない。結婚もしたいし、親とも仲良くやっていきたい。
- ・いろんな親がいる。自分の親は、人の話聞かずに、自分のことばかり言う。
- ・自分の祖母は地区外で、祖父は地区出身。結婚を反対され、親に勘当され、かけおちした。勘当されてでも生んでくれなかったら、父も私も生まれてはこなかった。
- ・地域の人で、つき合ってた彼女の家に行って、「どこの人？」ときかれて、地元の地名を言ったら、「別れな」と言われ、自殺しかけ、それを聞いて怖いっていうのもあるし、差別は殺人だと思った。いじめにしても、殺人と一緒に怖いと思った。中3の最後の頃に育友会に行きだし、仲間に出会い、面白くないと思ってきたことに興味が湧いてきた。友達をつくって帰ろう。仲間をつくるのが、結婚差別に負けなかったり、差別を正していくことにつながるから。

A (同和問題)分科会 II

小グループB

司会・報告 上板中学校・中山中学校
担当教員 上板中学校

■結婚差別について話を聞いたり、経験したことはないか。

- ・親戚で差別を受けたそうだけど、それでも結婚した。聞いた時はひどいと思った。自分が(差別に)あった時には親を説得できるようになりたい。友達がそうになったら支えてあげる。
- ・昔は聞いたことがあったけど、今でもあるんだなあと思った。
- ・今まで(同和問題を)経験したことがない。自分の身の周りにはいないけど、発表の話を聞いて実感した。

■同和問題を解決するためにはどうすればいいだろうか。

- ・私は同和問題について、ほとんど知識がないから今日の会に参加し、いろいろ意見を聞き、考えようと思った。結婚差別については、親がわざわざ、差別を出すこと自体が間違っていると思う。親からは差別を伝えてはならないと思った。
- ・間違った考えの人に教えられるようになりたい。
- ・おばあちゃんから(地域出身の子を差別する言葉を)言われて、何も言い返すことができなかった。勉強して正しいことを広げていきたい。

■同和問題解決に向けての話をもちかけた時に、否定的な答えやアンケートにまじめに答えていない人に対してどう言うか。

- ・その人に注意する。

■高校の人権学習はどのくらい時間があるのか。

- ・授業する時間は年に約6回くらい。

■高校生集会もあるの？高校生集会の参加状況は？

- ・高校の人権部サークルでの活動がある。その人はだいたい高校生集会に参加している。

■鳥取県には中学生集会はあるの？

- ・(鳥取教員)今回、鳥取の学習会の一環で徳島県に参加させてもらった。まだ、生徒の意識の中には同和問題解決に向けて、気づいていないところがあると思う。勉強して帰りたい。
- ・私は地区出身で、1年の頃から参加している。今年は3年で、この会に参加するのも最後になるから、毎年来ているから今年も来た。
- ・部落問題学習をしているから、この会を通してもっと詳しく学習したいと思った。

■学校での人権学習はどんなことを勉強しているか。同和問題学習が少なくなってきたくないだろうか。

- ・弁論大会や人権劇に取り組んでいる。
- ・「わたしの願い」を読んで感想を書いている。
- ・同和問題の学習が少なくなってきた。
- ・先生がプリントを持ってきて学習している。
- ・プリント学習。同和問題を中心に学習している。

■同和問題をどう、後世に伝えていくか。

- ・学習会に入っている人と入ってはいけない人がいるのはおかしい。
- ・(昔は)ある特定の地域だけ、入れる人が決まっていた。
- ・中山中は自由参加。
- ・親が間違った考えを持っている人がいる。間違ったことを親は教えたらいけない。正しい考えがないと偏見が広がる。
- ・親から正しい知識や考えを教えられないから、子どもが間違った知識を鵜呑みにしてしまう。
- ・学校でも同和問題について、正しい知識を教えられていない現状がある。(教員の意識の中に「同和問題は学習しなくてもよい、しない方がよい」「地域に実態がないのに、同和問題をわざわざ学習する必要はない」というような、「寝た子をおこすな」的な意識があるのだろうか)
- ・部落差別の意味が分かっていない。理解できず、心の中に差別の芽を植え付けてしまう。
- ・正しい考えを持っていなければ、旧同和対象地域の人と結婚する時になったら、差別をずる側になる。

- ・私の母も旧地域の人に対して偏見を持っている。母の偏見を変えていきたい。母の気持ちも受け入れつつ、変えていきたい。
- ・部落差別をする人の気持ちを聞きたい。なぜ、そのようなことをするのかを知りたい。

■最後に、A友の会1さんに入ってもらい、話しを聞いた。

- ・「私は地域出身であり、直接的に差別は受けていないけども、私の彼女は地域外の人で、私と付き合うことで彼女の周りの人(親や親戚)から交際を断るよう言われているという話を彼女から聞いた。けど、彼女は差別とたたかい、周りの人に同和問題解決に向けて強く訴え、間違った意識を変えていってくれている。だから、部落差別は地域だけの問題でなく、すべての人が考えなければならない問題なんだ。部落差別などの誤った考えをなくし、人間として何が正しいかを考える必要がある。」ということの中高生たちに話してくれた。



A (同和問題)分科会Ⅱ

小グループC

司会・報告 川内中学校・中山中学校
担当教員 松茂中学校

■学校での同和問題学習について教えてください。

- ・各学年ごとに人権劇をしています。
- ・解放文化祭をやっています。
- ・解放文化祭って何ですか。
- ・水平社について調べたことを発表したり、水平社宣言を覚えてみんなで朗読発表をしたりしています。
- ・クラスの人が人権作文を発表して、その作文に対する思いを発表する場があります。
- ・学級で代表を決めて文化祭で発表する学級弁論があります。
- ・劇を見ている人がどういう態度で見ているか。どうしたらいいのか。「～やりました」の先が聞きたい。劇とか以外にもどんなことを思っているのかも聞きたい。
- ・差別にあった時、注意できるようにするため、一生懸命がんばろうと思います。
- ・人権のビデオを見て意見を発表しあったり、差別を受けていた人たちの話を聞いて、感想を発表したりしています。
- ・親戚の人が結婚の時、問題となりました。そんなことを勉強したいと思って来ました。
- ・小学校の時から同和問題を勉強していて、身近にあるなと思って詳しく知りたいと思って参加しました。
- ・同和問題のことをくわしく知りたいと思って、この会に参加して、学校で勉強して差別を受けている人の話を聞いて、この問題に興味をもちました。
- ・小学校6年生の時、部落出身の人から話を聞いて、何故こんなことがあるんだろう。こんなことがあるなら、何か役に立てることがあるかなと思って参加しました。
- ・人権と聞いてむずかしく考えることない。楽しく勉強しよう。
- ・私は部落出身。小学校の時、学習会に入ったり、親も熱心で小さい頃からすすめられて、

しても意味ないんとちゃうかなと思ってた。高校に入って、先輩の話聞いて、自分も成長できると思って楽しくなった。

- ・最初は勉強と思って来よった。周りに友達できて、地域の活動しよったら、地区に生まれたことが良かったと思えるようになった。自分も好きになり周りも好きになった。
- ・差別にあうかもしれない。その時、行動できるようにになりたい。少しでも差別やいじめをなくしたいと思って学習するのが楽しい。
- ・経験の中に部落差別にあったことはないけど、その時のために力をつけたいし、友達にも伝えたいと思います。
- ・その学校には伝えたら、ほうなんじゃと応えてくれる子がいる。それはええことやね。
- ・部落差別についてもっと知りたいです。
- ・どうしてなくなるのでしょうか。
- ・人権委員で人権の会に入ったら絶対いいことがある。
- ・差別があって学校でも人権劇で同和地区のことを伝えたり、友達から意見を返してもらったり意味がある。人権劇は楽しかった。みんなに伝えられて良かった。
- ・部落に住んでいて、差別を受けたとき、どう立ち向かっていけばいいかわからないから来ました。
- ・部落出身を考える雰囲気がある場があることはすごいこと。
- ・小学校1年生から学習会のことを学活などで伝えている。何で行っているのか聞かれませんでしたか。
- ・小学校、中学校の時はあまり言えなかった。高校に入って、高校1年の時、教室で友達とその話をしよったんやけど、「なんでお前らそんな勉強しよん」と聞かれて「楽しいよ」と答えたら「あ、部落や」と言われた。いろんな人おるんやなとショックを受けた。
- ・勉強するんがしんどいと思うことない？本当のことを言って、それについて考えて、話し合わんといかんと思う。
- ・差別はなくならんと思う。何十年もかけて、やっと地区のことが言えるようになったから。
- ・部落差別のことを教えなんたら差別はなくなるって言われることがあるけど、そんなことはない。勉強してなかったら、噂でいじめら

れる。放つといたらなくなるもんでない。

- ・部落に生まれたことをあかんことじゃ、しょうがないことじゃと思わないようにしたいです。
- ・どこに生まれるかは選べない。お金持ちに生まれたから幸せ、部落に生まれたから幸せじゃないということではなくて、自分が部落に住んでいるんじゃ。どうして近所の優しいおばちゃんも差別されんといけんの。私らはしょうがないというよりもここに生まれたことでできることをやろう。
- ・学級の弁論でみんなに伝えて、みんなが思いを返してくれた。それをきっかけに学級の代表で校内で発表したことが印象に残っている。みんなの思いを生かしながら発表できたことがよかった。
- ・しょうがないって思うのもあっていい考えだと思う。人の考えを否定するのではなく、話をしていくことでこの人と会えてよかったといういい出会いがある。そんな出会いをいっぱい作っていききたい。



B (いじめ・不登校問題)分科会 I

参加中学生 33人

応神中学校 9人, 大麻中学校 1人

藍住東中学校 2人, 板野中学校 4人

上板中学校 2人, 川内中学校 2人

名和中学校 6人, 北暎中学校 3人

中山中学校 3人, 市立川島中学校 1人

司会・報告 応神中学校

担当教員 板野中学校・大麻中学校

■「いじめ・不登校問題」の意見発表に対する感想や思いを出し合っていきたいと思います。

- ・私は、自分のそばに仲間になってくれる人がおらんので、すごくさみしいと思うし、うちも、さみしい思いをしてみました。今は、友達も味方してくれるし、いい友達もいっぱいおる。いじめはなくしていかなあかんと思う。
- ・いじめられている友人がなかったから、よく分からなかったけど、さみしい思いをしたり、苦しい思いをしたと思う。
- ・自分もいじめられたこともあったし、いじめられたら悲しいし、学校にも行きたくなくなるから、いじめをなくしたい。
- ・友達が味方してくれているのが、裏切られたら悲しいし、つらかったと思う。
- ・そういつたいいじめをされたら、耐えられないと思う。
- ・集団生活をしていたら、必然的にいじめは起こると思う。自分がそれにどう対応するかだと思ふ。
- ・いじめは精神的にまいってしまうんだなと思った。同情じゃないけど、つらいんだなと思った。もし自分ならいやです。
- ・私とちょっと似ているところがあると思った。私は友達に裏切られたことがありました。他にも友達がたくさんいたから、耐えることができました。すごくつらかったと思います。
- ・教室に入れんかったり、自分を傷つけたりしているのに、周りに助ける人がいないから、助けてあげたらいいと思った。
- ・裏切りは、信じるから裏切られるので、信じられる友達を見つけて、他の子に裏切られて

も信じられる友達をもてたらいと思う。

- ・自分もいじめられたけど、友達に裏切られたっていうのは、その友達もまたいじめられるからだと思う。
- ・私も小学校4年から5年までいじめられていた。私は友達が助けてくれたからいじめはなくなった。
- ・今、私のクラスにはいじめはないけど、もしあったらみんなで助けたいと思う。
- ・あんないじめをされて自分のことを、よくみんなの前で発表できてすごいなと思った。
- ・こうやって1人が苦しいことを言ってくれたら、それが自分も分かるけんよかったと思います。
- ・私も1人になったことがあるから、苦しかったと思う。
- ・すごく自分自身ショックをうけたから、早くいじめをなくしていかないかんと思った。
- ・いじめがきっかけで、自分自身を傷つけてしまうことを知って、いじめは心も身体も傷つけてしまうことを知った。
- ・きつと思い出したくないようなことなのに、それを発表してすごいと思った。
- ・味方をしてくれる友達が大切だと思った。友達を大切にしていこうと思いました。
- ・発表者の作文にあったように、自分も学校に行けん時もあった。友達がいたから行けるようになったから、友達って大切だと思いました。
- ・意見発表を聞いて、まず居場所をつくってあげたいなと思いました。

■今回、どうしてこの「いじめ・不登校問題」の分科会に参加しようと思ったのかを聞きたいと思います。

- ・私自身がいじめられたこともあったのと、昨年この交流集会に参加していたけど、十分に自分の思いが言えなかったから、今年も参加しました。
- ・いじめがちょっとでも少なくなったら、他の障害者に対する差別なども少なくなると思ったからです。他のいろんな差別にも、いじめが入っていると思うし、部落差別とかにも関係していると思ったから、この分科会に参加しました。

- ・いじめがなくならな、他の差別もなくならな
いと思ったからです。
- ・私は今まで、いじめを「ほんなん、ハハエン」
と笑い飛ばして乗り越えてきたところがある
けん、ちゃんと向き合ってなくしていきたい
と思ってきました。
- ・いじめられている子がいて、自分は止められ
なくて、止められる勇気をもらおうと思っ
てきました。
- ・一番身近にある問題だと思ったからです。
- ・今まで自分は、どちらかというといじめる側
だったから、この分科会に参加しました。

B (いじめ・不登校問題) 分科会 II 小グループA

司会・報告 応神中学校
担当教員 板野中学校

■まず、いじめについてどう思っているかにつ
いて意見を出し合っていきたいと思います。

- ・いじめは悪いというのはわかっている。いじ
めをする人といじめをせん人の間に、止めれ
んけど、見ている人がいる。いじめをされる
人もいじめをする人もかわいそうだと思う。
いじめをする人がかわいそうだと思うのは、
いじめをせん人から「あいつは、あんなこと
しよる」というように見られているから、そ
う思います。
- ・いじめられる側は、傷つくしやめた方がいい
と思う。いじめる側もいじめられる側もつら
くなってくるからやめた方がいいと思う。
- ・いじめられる側にも悪いところがあるという
けど、いじめる側が言わんかったら、いじめ
は始まんけん、みんなで、いろんな言葉を
なくしていったらいいと思う。
- ・どうしていじめがあるのかが分かりません。

■今の意見から、どうしていじめが起こるのか
について考えたいと思います。

- ・僕は、じっと我慢して何にも言わず親にも言
わない子がターゲットになりやすいと思いま
す。
- ・いじめられる側が、いじめに対して反抗して、
その反応がおもしろかったら、またいじめに
なっていくと思います。
- ・遊び半分で行っていることから、いじめが起
こってくると思います。
- ・いじめる人が、いじめられる人を弱いと思っ
ているから、力関係で起こると思う。
- ・いじめる人が、陰口を言ったり、自分に気に
入らないことがあってターゲットにすること
から起こると思います。
- ・自分が悪口を言われるのが嫌で、自分より弱
い人がほしくて、そんな人間の感情から起こ
ってくると思う。
- ・自分より下の者(格差)がほしいという意識が

人間の心にあると思う。自分以下を求める心から、何か違うところを持っている人をいじめの対象にしていくから、いじめは起こってくると思う。

■次に、みなさんの経験から意見を交換していきたいと思います。

- ・僕は、小学校の6年生までいじめられていました。サッカーで、いつもキーパーをやらされて、点をとられたら、お前のせいで負けたとか言われたり、チャイムが鳴るときにボールを遠くに蹴られて、とりにいかされて授業に遅刻させられたりしていました。
- ・小学校4年生から6年生まで、いじめられてめっちゃ泣いていた。近寄るなどか仲間はずれにされたりしていた。中学校になってなくなったかな。自分よりひどいいじめをされてる子がいることを知った。最初は知らなかったけど、どちらにも入らない立場になっていた。ある時、自分が泣きながら注意したら、その子は分かってくれたけど、他の子がまだ言っていることがあった。
- ・小学校の頃、1人になったりしたこともあって、いじめてた子が、人権作文にそのことを書いて、すごく悪い事をしてきたなどということに気がついた。
- ・小学校の時から、人をいじめていて、人権学習をしていく中で自分のしてきたことが分かり、すごく反省してきました。
- ・小学校の頃、誰にでもしていたことが、限られた子にするようになってきた。中学校には2つの小学校があって、1校に1人ずついじめられていた子がいた。1人は積極的じゃない子で、その子のことをとやかく言っててその子は転校してしまいました。もう1人の子は、中学校になっても小学校の時のことを言われて、小学校の時のいじめが盛り返そうとしているところがある。何とか止めた方がええと思う。
- ・小学校の時、あだ名をつけるのが流行って、みんなあだ名をつけあってたけど、自分だけが変なあだ名をつけられて怒ったらいじめられた。中学校で、いじめをする側で注意されてやめられた。
- ・あの子は言ってもいけるけど、この子にはあ

かんと思ってしまったり、自分より下と認めてる人に優しくしたり、力関係が自分より上と認めている人や怖い人の前では、同じ子に対して強い態度に出てしまったりする場合があります。人権学習をしてきて、誰の前でもあかんことはあかんということがわかった。

- ・怖い人とかおらんけど、みんなの前になるとちゃんと自分の思ってることが言えなかったりする。言われたら、自分が毒舌だから、何を言ってしまうか分からんから心配。毒を吐いてしまうのがイヤ。
- ・人権学習の中で、味方についてあげるってよく言うけど、自分がいじめられる側になるかもしれないと思うと、実際は難しいと思う。それが人間です。

■最後に、いじめをなくしていくために自分は何からしていくかについて考えたいと思います。

- ・誰かが、いじめられよることに気づけただけですごいと思う。いじめよる子にやめさせることは、難しいかもしれないけど、気づいたらいじめられよる子に声をかけることはできる。声をかけられる人が1人より2人の方が、気持ちが軽くなる。2人より3人の方がもっと軽くなっていい。いじめられる側のサポートにまわっていったらいいんじゃないかと思う。



B(いじめ・不登校問題)分科会Ⅱ

小グループB

司会・報告 大麻中学校

担当教員 大麻中学校

■なぜ、いじめ不登校の分科会に参加しようと思ったのか。

- ・自分もいじめでつらい思いをしたことがあって、なくしていきたいという思いがあったから来ました。
- ・いじめをなくしたいと思うし、いじめをなくすことで他の差別もなくせると思ったから来ました。
- ・私はいじめを受けたことがあります。一番身近な問題だと思うので来ました。
- ・自分の通う学校にいじめがあるので身近な問題だと思うし、命にかかわる問題だと思うのでみんながどのように思っているのか知りたくて来ました。

■身近にいじめがあったときどのような行動をしましたか。例があれば教えてください。

- ・1人の子がいじめられていたので、自分もいじめてしまったことがある。本当はいじめたくなかったのに何もできなかったのがくやしい。
- ・いじめがあった時、自分もいじめられるのが怖いのでまわりに合わせてしまった。いじめがだめだと思っけていてもなかなか言えない。

■どうしていじめが起こると思いますか。

- ・1人話についていけなくて、浮いてしまう人がいじめられてしまうと思う。
- ・最初は悪口からはじまって、だんだんエスカレートしていじめになってしまうと思う。
- ・中心的な生徒が嫌いな人に集団でいじめをしようと思う。

■いじめに対しての様々な意見が出ましたが、どのように私たちは行動していけばよいと思いますか。

- ・いじめに対して逃げ回るか、立ち向かうかだが、立ち向かうことも大切だと思う。いじめ

を受けたら自分で誰かに相談していくことも大切だと思う。

- ・いじめに出あったとき、1人で止めようとするのではなく、多くの人で立ち向かうようにすれば良いと思う。
- ・いじめを受けたら相談できるかどうか不安です。親にも言いづらいし、迷惑をかけたくないと思う。
- ・いじめられている人が1人でがんばるのではなくて、まわりの人がその人の居場所をつくるのが大切だと思う。
- ・私は、いじめられている人の味方をしたら自分もいじめられてしまうかもしれないので勇気がないです。
- ・いじめに気づいたら、自分の意見をきちんと言った方がいい。だめだと思ふことは友達に言うといい。
- ・私も自分といっしょの気持ちの人と力を合わせるのが大切だと思う。
- ・そのためにも、本気で話ができる仲間づくりが大切だと思う。
- ・母親の立場として発言させてほしい。何か辛いこと、自分で解決できないような問題に出会ったら、まず親に相談してほしい。遠慮する必要はない。相談してくれずに、1人で悩んでいる姿を見る方がよほどつらいことです。



B (いじめ・不登校問題) 分科会 II

小グループC

司会・報告 応神中学校

担当教員 藍住東中学校

■ どうしていじめがおこるのか。

- ・いじめる人がいるから。特定したわけではなく、ストレス発散でしている。
- ・おとなしい人をからかったりして、笑ったりする。こいつ、調子にのっとなあとか。
- ・いじめは、悪口から始まったりする。
- ・自分より弱い人をターゲットにする。友達関係のごたごたなど。

■ いじめられた人は、どうしていじめられたと思うか。

- ・知らない間に悪口を言われたり、無視されたり、集団でいじめられた。先生も気づかない間にいじめられていた。1ヶ月くらい。
- ・男子の前で、女子にいじめられた。「どうして、私なんだろう」と思った。
- ・女子は口が悪いので、先生に言ったけど、自分は何もしていない。何回か続いたけど、友達が助けてくれた。2ヶ月間。
- ・消しゴムを拾ってあげると、ばい菌扱いにされた。

■ どうして、いじめたのか。

- ・自分がいじめられる立場になりたくないから。一緒にいじめる。
- ・自分を守るために誰かをいじめる。かわいそうやなあと思う。
- ・むかついたので、いじめた。
- ・自分よりおとなしい子にストレス解消みたいにしていじめた。いじめる子と一緒にいたら、自分はいじめられない。
- ・仲良くしていなかった子がうざかったので、いじめた。1ヶ月間。先生に話をして、学級で話し合っ解決した。
- ・いじめていた人に対して、いじめ返した。スッキリした。自分は何もやっていないけど、なぜいじめられたのか。

■ いじめは、どうしたらなくすことができるのか。

- ・困るけど、いじめはなくなるらない。
- ・誰にでもいじめたいという気持ちがある。ストレスの解消を考える。
- ・人のいいところを見つけたらいい。
- ・先生、家族に相談すればいい。学級や学年で話し合ったらいい。

■ いじめられた生徒は、不登校になったり、転校を余儀なくされたりすることについて、どう思うか。

- ・先生が悪い。解決しないままなので、学校が悪い。いじめられることによって、転校すればきりが無い。
- ・学校側に問題がある。きちんとした対応が必要である。



B (いじめ・不登校問題) 分科会 II

小グループD

司会・報告 応神中学校

担当教員 応神中学校

■この中学生集会、この分科会に、みんなはどうして参加しようと思ったのか、自己紹介も兼ねて、話してみたらどうだろうか。

- ・私は、友達との関係で、友達を信用できなくなったことがあって、みんなは信用できる友達がいるかどうか聞きたいと思って参加した。
- ・私も、昔、友達だと思ってた子に裏切られたことがあって、人を信じるのが恐くなって、友達を信じていいのか分からなくなった。

■友達を信じられないっていうのは、つらいことだよ。一度そんな経験したら、怖くなるね。他の人は、どんな経験をしてきたんだろうか。

- ・私は、今のクラスは、みんな仲がよくて、いじめとかはない。友達も、信用できる。でも、話を聞いたら、そんなのは嫌だなあと思う。
- ・私の学校でもいじめはあって、自分の友達にはいじめられている子はいないけど、中にはいじめられている子がおって、どうしたらなくなるのかなあと思う。
- ・うちのクラスも、いじめとか不登校は、今はない。けど、他の学校とかでいじめの話を知ったら、そんなことがあるのかなあと思うし、他のクラスでいじめがあるらしい。友達は、仲のいい友達は信用できるけど、どこまで信じていいのか分からん子とかもおる。
- ・みんなはここに友達になりに来とるけん。ここはいじめとか差別をなくそうって集まって来ているから、もっともっと話をしたらいいと思う。ここでもっと話して、友達になって、そしたらここからいじめはなくなるんよ、まずここから。もっと自分のこととか話していかない。
- ・私も、前にいじめというか、信じとった友達に裏切られたことがあって、今もすごくそれで悩んでいる。クラスとか誰も信じられんし、友達って言うけど、すぐに裏切られてつらいし、ほんまの友達とかおらん。そんなことが

あったけん、友達に何を言っているんか分からなくなったし、自分の本音とか言えんようになった。思っことを誰も言ってくれんし、自分も言えんのが嫌。

■他の子は？ どう思う？

- ・私は、先生もよう知っと思うけど、友達にうそをつかれたことがあったんよ。私が好きな人がおって、友達がその人のことで私に教えてくれたことがあったんやけど、それがうそだったんよ。それがうそって分かった時は、ショックだったし、すごくイヤだった。それで学年全体で話し合いとかしたけど、そこでは謝ったというか、解決したようなしてないような…なんやけど、なんか、まだ友達を信じていいんか分からんし、信じたくても、またうそつかれるん嫌やし。
- ・こうやって話を聞きよったら、Aさんはすごい明るくて、いろいろ話してくれて、すごい元気で、Aさんみたいに元気な子がクラスにおいたら、いいなって思う。たぶん話しやすいけん、いじめとかなくなると思う。
- ・今はな。今は、こういうキャラなんやけど、小学校の時は今と全然違っと思って、人に話しかけるんとかできんかったけど、これじゃいかんと思った。みんなに話しかけてもらうためにも、自分から話しかけて行って、友達にならんといかんって思ったけん、話そうって、こんな感じに変わった。前は、男子とかとも話せんかったし、よう無視とかケンカとかしよった。今は、クラスとか、学年とかで話をしたことがない子はおらんし、みんな普通に話せる。

■みんなの学校は、クラスのみならず話できる？

- ・私はそれができんけん、そういう自分のできんことをしよる人とか、女子男子関係なく話せる人を尊敬する。
- ・私も、話しよったらすぐ人に合わせてしまう。それはなんか嫌なんやけど、違うとか言えん。自分の思っことを言えん。
- ・うちのクラスも、全員と話したことはなくて、クラスみんなは信用できん。Aさんの話をきいたら、うらやましい。Aさんみたいに、素の自分を出せたら、楽しいと思う。

- ・みんなの話を聞いていたら、ほんまの自分、素の自分を出せなくて、みんなしんどい思いをしてるんだと思う。Aさんもさっき話してくれてたように、友達との間で、裏切る・裏切られるとか、悪口とか、人のことを信じられなくなることが起こって、ほんとの自分が出せなくなっているのかなあとと思う。ほんまの自分、素の自分を認めてほしい。
- ・私も、クラスで、あいさつはするけど話はしたことがない子がおる。そういう子の方が多い。
- ・友達だと思っていた子のことを信じられなくなったんは、きっかけがある。私についてのうわさを流されて、それを友達だったら信じてほしくないのに、信じられた。自分の身に覚えのない話が広まって、「何でそんなこと信じるん？」って思った。それで友達と心が離れてしまった。仲悪くなりたいわけじゃないのに。人のことを信じるのは難しい。けど、今日ここで初めて会って、こうやって話してみたら、みんな話聞いてくれて、すごく話しやすかったし、この人なら信じられるなあって思った。学校にこんな友達がおったらいいけど、なかなかおらんけん、ここに来てよかったと思う。
- ・ここで友達になればいい。メアド交換したり、また会ったりして、ここからスタートして友達になれると思う。ここで知り合った人と、どこかで再会することもあると思う。高校かもしれないし、バイト先かもしれないし、全然関係のないところで出会うことだってある。その時に、ここでこうやって話したことがあれば、不安じゃなくなる。ここがスタートで、これから友達になってほしい。
- ・あとでメアド交換しよう。
- ・こんな風に話せてよかった。ここで話したことも忘れんし、またこんな風に話したい。ありがとうございました。

C (障害者問題)分科会 I

参加中学生 12人

応神中学校 5人、川内中学校 3人

市立川島中学校 1人、北暎中学校 3人

司会・報告 川内中学校・応神中学校

担当教員 吉野中学校

■意見発表を聞いてどう思ったか？

- ・障害のある人は不幸だと普通の人(障害のない人)は思っているけど、ごく普通に当たり前の生活を送っているんだと思った。
- ・福祉とかについて学校で勉強したと言っていたけど、障害者の人が学校に来てくれて中学生の子が学べるのはいいなあとと思う。
- ・私は手話を習っていて、耳の不自由な人とも話したりしてる。私のお祖父ちゃんも左手が不自由だし。この前、高校の体験入学に行っていて、障害のある子を見て、笑っている生徒がいた。今でも障害者差別はあると思うし、見て笑う人はおかしいと思う。
- ・私の父も母も耳が不自由で、差別を受けてきたと聞いたことがある。なぜ差別があるのか、なぜ差別するのか。許せない気持ちがある。
- ・私は、友達の家によく遊びに行くけど、(耳の不自由な)お母さんとコミュニケーションがとれる。友達が中2の時の意見発表会で発表して、障害者差別やおかしいと思った。
- ・障害者でも人権はあると思う。障害があると目立ってしまうのか、見てしまうことがあった。自分には関係ないとか、話せんでもいいとか思っていた。でも、手話を習って触れ合っていたら、一生懸命に話をしてくれるし、分かりにくかったら紙に書いてくれたりする。向こうも話をしようとして一生懸命になっているので、私も応えたい。

■障害者を見たときや出会ったとき、どんな風に思う？

- ・「自分は関係ない」と思うことがある。でも、身近なところにも障害者はいるので、関係あることだと思う。
- ・見て笑う人がいるけど、何が面白いのか分からない。笑って真似したりして感じ悪い。自

分もされたら嫌だと思う。でも、その時、私は止めなかった。初めて会った子やっけん、止めれなかった。今は、止めたらよかったと思っている。その子も一緒にお母さんも、笑われていることに気づいていたと思う。私だけでなく、周りの人も止めなかった。関係ないと思っていたのかも。

■障害者の人を笑ったりしている人がいる時、みんなはどうする？

- ・私は、その時だったら一緒に笑ってしまう。でも、今は障害者問題を解決したいけん、止めようと思う。
- ・おかしいことだから止めたいと思う。
- ・知り合いだったら「やめなよ」と言えるけど、知らない人には言にくい。
- ・「なに良い子ぶっとな」とか言われんかなと周りの目を気にしていたら、言えんと思う。でも、「やめなよ」と言うことは正しいことだから言ってもいいと思う。
- ・この人権交流集会のように、みんなが話せるようになりたい。
- ・差別したい人とかおらんと思う。仲間がいたら注意できる人もいるけど、1人でもできないといけないと思う。

■障害者の人をかわいそうと思ったことがある。どうやったら同じように接することができるようになるのだろう。

- ・障害者の人に変な気遣いするのがあかんのかも。普通に接するのがいいのかな。
- ・みんなの話を聞いていて、障害者の人を差別するのはおかしいと思う。
- ・昔は、私もかわいそうと思っていた。でも今は、何も思わない。みんな同じだと思う。かわいそうだとか、障害者なのに頑張ってすごいとかは思わない。

C (障害者問題) 分科会 II

司会・報告 応神中学校
担当教員 吉野中学校

■どんな障害があるか、考えてみよう。

- ・視覚障害や聴覚障害、言語障害、精神障害や肢体不自由のような障害もある。

■障害者差別ってどんなものがあるか、聞いたたり見たたりしたことはある？

- ・「きちがい」とか「がいじ」とか聞く。あれも差別語だと思う。
- ・「お前、身障ちゃうん」とかも聞く。
- ・そんな言葉聞くと、えって思う。さらっと言ったりする。おもしろ半分で言ってそんな感じだけど気になる。
- ・耳の不自由な子に「つんぼ」とか言う。冗談っていうけど、完全に馬鹿にしてるし、差別的な発言やから言ってはいけない言葉と思う。
- ・聞いたら気になるけど、見逃してしまうこともある。
- ・止めたらやまると思うけど。だけど、「やめよう」って言ったら、すぐ他の話が変わってしまう。そして、時間がたったら、また差別的な発言をする。周りのみんなは聞いていて笑ったりするけど、おかしいという気持ちもある。なんで止めんのかなと思うけど。先生も、見ても何も言わないし。
- ・小学校の時に障害のある友達がいた。その子をいじめている子もいた。

■どうしたら差別をなくしていけるのだろう？

- ・どうやったら差別がなくなるかって考えてみることがある。「障害者やけん」とか「障害者でないけん」とかは関係ないと思う。自分も周りの人も変わっていかんと駄目だと思う。
- ・障害のある人は、差別されるかもと思っているかもしれん。でも、そんなのは関係なく話ができたらと思う。言語障害のある人と、どう話していいか分からん時もあるけど、壁をつくるのはよくない。話をしていくのが大切。
- ・僕は「きちがい」「がいじ」とかの言葉が悪いとは言わない。僕も「身障」とか言ってしま

う事もある。きっと怖い先生が「そんなこと言うな」と言えば、言わなくなると思う。でも、それでは障害者問題は解決にならない。差別的な言葉をなくすだけが、目的と違うと思う。そんな言葉を許さない雰囲気になったら解決したことになるのかな？

- ・「言ったらいかん」で先生が言ったら、学校で言わなくなると思うけど、他の場所で言うかな。なんで言ったらいかんかを分かってほしいんやけど。
- ・いろんな考えがある。言葉を言ったら駄目とかだけにとらわれんでほしい。
- ・職場にも障害のある人がいるけど、普通にというか、あまり考えずに接している。みんなのように一生懸命に考えることは大事なんやけど、考えすぎると動けなくなることもあるかもしれん。
- ・いじめや差別はあかんと思う。でも、実際にしている人もいる。なんでいじめや差別があるのか考えたい。「障害者」って呼んでるだけで人間としては一緒と思う。
- ・いつ障害者になるかは分からない。僕も事故にあって、障害者になる可能性がある。だからこそ、自分たちの問題かなって思う。僕らも中学生集会に参加した時、みんなの意見を聞いていい勉強ができた。こうやってみんなが考えていることも分かった。会で意見をあまり言わない人がいたとしても、何かは考えてくれているし、みんなの意見を聞いて勉強になると思う。集会に参加することは無駄ではないと思う。
- ・差別はおかしいと思う。これから考えていきたい。差別やいじめをなくしていくために何ができるか、考えてみたい。



D (女性差別) 分科会 I・II

参加中学生 8人

上板中学校 2人, 川内中学校 2人

鴨島東中学校 1人, 北暎中学校 3人

司会・報告 川内中学校・上板中学校

担当教員 川内中学校

■意見発表を聞いてどう思ったか？

- ・女性問題は女性以外の方が考えるべき。ジェンダーの問題も考えていったらおもしろい。
- ・「女の子だからちゃんと家のことをした方がいい」と父によく言われる。
- ・家族中から「女なんだから手伝いをしろ」と言われる。男性もつらいところがあると思う。女性が下に見られているから男性が強さを要求される。
- ・分科会に男性がもつといるべきだ。(当日男性の参加は1名)

■体験談を話そう！

- ・「女の子だから」という理由で祖父母が厳しい。
- ・言葉遣いが悪いと「女のくせに」と言われるのがいや。
- ・料理や洗い物をしてもほめられない。「頭が悪いんだからそれくらいしなさい」と言われる。
- ・スカートをはいて足を開いていると怒られる。好きな座り方をしたい。
- ・小さい頃から言われ慣れていて気にならない。
- ・自分のことを「オレ」と言うとまわりの人によく注意される。
- ・男子と同じように女子がけんかすると非難される。
- ・体育の時間女子は体育館。サッカーがしたいのに男子が「サッカーは男のスポーツ。野蛮な奴だ」と言われる。
- ・父や祖父が家事をする姿を見て育ったので自分も(男だが)している。逆に妹は何もしない。つい「女なんだから(しろ)」と言ってしまった自分を反省している。
- ・父は亭主関白で母は逆らえない。兄は父と同じ。弟に「女は家事や男の世話をしたらいい。男は家事はしなくてよい」と言う。しかし弟は(女の)大変さを分かっている。兄には「大

学へ行き家族を養うべき」と言うが私には「学歴はいらないから就職しろ」と言う。人生にはさまざまな選択があるはずなのに、進路のことを親に相談できない。自分らしく生きていきたい。

- ・HRで男女平等の授業をしている先生が「女の方が強いんやなあ」「女も男と一緒に男みたいな遊びしようでえ。ごっついなあ」などと言う。

■イメージマップを作ろう！

「男性」「女性」という言葉から浮かぶイメージを書き出した。

■女性問題クイズにチャレンジしてその感想を話そう！

- ・男女混合名簿より男子が先の名簿がよいと答えた女子が多かったことに驚いた。
- ・家事・育児に費やす女性の労働時間が日本ではとても長いことにびっくりした。
- ・女性は低く見られている。理解されていないことが悲しい。
- ・女性の収入はまだまだ少ない。
- ・政治の世界では女性はまだ認められていない。
- ・家事に従事する時間が日本では男性は短すぎる。
- ・日本は遅れているなあ。

■女性は何をする人だろう？

- ・「女性だからこれをするべき」というのはない。
- ・結婚したら夫を支える人？
- ・したいことをしたらいいと思う。男性、女性関係なく家事はできた方がいい。
- ・家のことはそれなりに身につけた方がいい。
- ・女性ということに誇りを持って行動することが必要。
- ・自分が正しいと思ったら、まわりを気にせず発信していくべき。

■身近な差別にはどんなものがある？

- ・男女でいろんなものの色分け。体操服、上靴、ランドセル…スカートやズボン。スカートが嫌いな女子もいる。
- ・まわりの目を気にする。
- ・今日話題にのぼったのは、表面的なことだけ。

もっと深いところで考えてほしい。

- ・女性差別をなくしていく女性であってほしい。女性差別をなくそうとしていない女性もいる。女性がそういう動きに反対したり、邪魔したりするケースもある。父親が暴力的で母親に家事を押しつけている家庭に育つと刷り込まれてしまう。誰かに合わせる生き方をしてほしくない。自分らしく生きる一歩を踏み出してほしい。
- ・私は同和地区に生まれた。それで部落差別を受けるかもしれない。将来、障害を負うと、女性ということと合わせて3つの差別に苦しむ可能性がある。そんなのはいやだ。絶対になくしていきたい。

